

## 2013年理工A方式第2問

2 10円硬貨3枚と100円硬貨3枚を同時に投げて、表の出た10円硬貨の枚数を  $X$ 、表の出た100円硬貨の枚数を  $Y$  とし、 $X$  と  $Y$  の大きい方を  $Z$  とする。ただし、 $X$  と  $Y$  が等しいときは  $Z = X$  とする。

(1)  $X \leq 1$  である確率は  $\frac{\boxed{\text{ク}}}{\boxed{\text{ケ}}}$  である。

(2)  $Z \leq 1$  である確率は  $\frac{\boxed{\text{コ}}}{\boxed{\text{サ}}}$  である。

(3)  $Z = 3$  である確率は  $\frac{\boxed{\text{シ}} \ \boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セ}} \ \boxed{\text{ソ}}}$  である。

(4)  $Z$  の期待値は  $\frac{\boxed{\text{タ}} \ \boxed{\text{チ}}}{\boxed{\text{ツ}} \ \boxed{\text{テ}}}$  である。